

平成 29 年 6 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 2 月 14 日

上場会社名 株式会社かんなん丸 上場取引所 東
 コード番号 7585 URL http:// www.kannanmaru.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 栄治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 宮永 一彦 (TEL) 048-881-9056
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 6 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 6 月期第 2 四半期	2,545	△10.2	33	△70.1	36	△68.2	15	△70.3
28 年 6 月期第 2 四半期	2,835	△5.6	112	△5.8	115	△9.7	51	△0.5

(注) 包括利益 29 年 6 月期第 2 四半期 17 百万円 (△65.5%) 28 年 6 月期第 2 四半期 51 百万円 (△2.2%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 6 月期第 2 四半期	4.01	—
28 年 6 月期第 2 四半期	13.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 6 月期第 2 四半期	4,096	3,388	82.7
28 年 6 月期	4,140	3,431	82.9

(参考) 自己資本 29 年 6 月期第 2 四半期 3,388 百万円 28 年 6 月期 3,431 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 6 月期	—	0.00	—	16.00	16.00
29 年 6 月期	—	0.00	—	—	—
29 年 6 月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 6 月期の連結業績予想 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,948	△6.0	△5	—	△3	—	△23	—	△6.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	4,351,308株	28年6月期	4,351,308株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	539,651株	28年6月期	539,587株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	3,811,696株	28年6月期2Q	3,811,750株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や日本銀行の金融政策等により、企業収益の向上や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しております。中国の景気減速や原油を始めとする資源価格の変動による下振れリスクなど、依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、景気回復傾向に伴う人件費関連コスト等の上昇や食材価格の高騰に加え、業種・業態を超えた企業間競争は激しく、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

こうした状況の下、当社グループは既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、従業員教育を徹底し、また、「わざわざご来店いただいたお客様」にご恩返しするためのきめ細かい施策を継続して実施してまいります。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」38店舗、「日本海庄や」36店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」10店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」7店舗、もつ専門料理「東京芝浦もつ丸」1店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」1店舗、旬菜・炭焼「炉辺」1店舗の合計94店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,545,552千円（前年同四半期比10.2%減）、売上総利益は1,834,074千円（前年同四半期比10.0%減）、販売費及び一般管理費については1,800,376千円（前年同四半期比6.5%減）となり、営業利益は33,697千円（前年同四半期比70.1%減）となりました。

経常利益につきましては、36,615千円（前年同四半期比68.2%減）となり、税金等調整前四半期純利益35,439千円（前年同四半期比63.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,294千円（前年同四半期比70.3%減）となりました。

なお、当社は料理飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,963,147千円となり、前連結会計年度末に比べて31,145千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が19,958千円増加したこと及び売掛金が12,137千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は2,133,099千円となり、前連結会計年度末に比べて74,941千円の減少となりました。これは主に、固定資産の減価償却費95,876千円の計上によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は489,028千円となり、前連結会計年度末に比べて23,849千円の増加となりました。これは主に、決算月次の仕入高の増加に伴い買掛金が36,803千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は218,752千円となり、前連結会計年度末に比べて24,217千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が返済により17,365千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,388,533千円となり、前連結会計年度末に比べて43,451千円の減少となりました。これは、配当支払による減少及び四半期純利益の計上の結果、利益剰余金が45,693千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,576,861千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は147,758千円(前年同期は243,828千円の獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益35,439千円、減価償却費95,876千円、仕入債務の増加額36,803千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は73,968千円(前年同期は95,073千円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出61,081千円、定期預金の預入による支出32,317千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は84,349千円(前年同期は78,420千円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出17,365千円、配当金の支払額60,846千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年8月12日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳しくは平成29年2月14日に公表しました「第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,323	1,787,282
売掛金	37,089	49,227
商品	62	88
原材料	36,485	38,789
前払費用	73,284	69,635
その他	17,755	18,125
流動資産合計	1,932,002	1,963,147
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	934,700	883,041
その他(純額)	319,519	313,493
有形固定資産合計	1,254,219	1,196,535
無形固定資産	14,639	14,315
投資その他の資産		
敷金及び保証金	802,287	784,344
その他	153,147	153,429
貸倒引当金	△16,252	△15,524
投資その他の資産合計	939,182	922,248
固定資産合計	2,208,041	2,133,099
繰延資産	89	66
資産合計	4,140,132	4,096,313
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,715	143,519
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	41,676	41,676
未払法人税等	30,778	34,575
賞与引当金	2,330	2,830
資産除去債務	-	2,768
その他	273,678	253,658
流動負債合計	465,178	489,028
固定負債		
長期借入金	40,267	22,902
資産除去債務	155,668	154,348
その他	47,033	41,501
固定負債合計	242,969	218,752
負債合計	708,147	707,780

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,682,838	3,637,145
自己株式	△621,859	△621,974
株主資本合計	3,424,578	3,378,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,406	9,763
その他の包括利益累計額合計	7,406	9,763
純資産合計	3,431,984	3,388,533
負債純資産合計	4,140,132	4,096,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,835,396	2,545,552
売上原価	797,029	711,478
売上総利益	2,038,366	1,834,074
販売費及び一般管理費	1,925,580	1,800,376
営業利益	112,786	33,697
営業外収益		
受取利息	286	154
協賛金収入	879	1,476
貸倒引当金戻入額	511	728
その他	746	748
営業外収益合計	2,423	3,108
営業外費用		
支払利息	189	189
営業外費用合計	189	189
経常利益	115,020	36,615
特別損失		
固定資産除却損	1,239	1,175
減損損失	18,080	-
特別損失合計	19,319	1,175
税金等調整前四半期純利益	95,701	35,439
法人税、住民税及び事業税	50,151	18,390
法人税等調整額	△5,899	1,755
法人税等合計	44,252	20,145
四半期純利益	51,449	15,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,449	15,294

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	51,449	15,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△303	2,357
その他の包括利益合計	△303	2,357
四半期包括利益	51,146	17,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,146	17,651
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	95,701	35,439
減価償却費	101,969	95,876
減損損失	18,080	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△511	△728
賞与引当金の増減額(△は減少)	△110	500
受取利息及び受取配当金	△533	△293
支払利息	189	189
固定資産除却損	1,239	1,175
売上債権の増減額(△は増加)	△19,121	△12,137
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,609	△2,329
仕入債務の増減額(△は減少)	58,555	36,803
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,753	2,770
その他	26,639	10,886
小計	253,735	168,153
利息及び配当金の受取額	533	412
利息の支払額	△130	△191
法人税等の支払額	△10,326	△20,616
法人税等の還付額	15	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,828	147,758
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△32,307	△32,317
有形固定資産の取得による支出	△63,250	△61,081
貸付けによる支出	△3,270	△2,100
貸付金の回収による収入	3,474	3,346
その他	280	18,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,073	△73,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△17,345	△17,365
リース債務の返済による支出	-	△6,022
自己株式の取得による支出	△94	△115
配当金の支払額	△60,981	△60,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,420	△84,349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70,333	△10,558
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,875	1,587,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,555,209	1,576,861

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。